

第16回聖路加看護学会学術大会のご案内

第16回聖路加看護学会学術大会
 大会長 田代 順子

第16回聖路加看護学会学術大会を、「看護の可能性を拓く—看護実践の高度化と役割拡大」をテーマに開催いたします。今日の日本や多くの国々で、医療の進歩による少子・高齢化、活発な経済活動を背景としたグローバル化が、ミレニウムを迎え急速に進んでいます。このような地域・社会の医療ニーズに対応し、看護実践も実践モデルが変化・高度化してきました。看護の高等教育化も進み、看護の役割の拡大となるコンセンサスの形成や基盤整備が進んでいます。

聖路加看護大学大学院は、看護実践の役割拡大ニーズに応じて、2005年度には、在宅看護学と国際看護学を、2010年度から周麻酔期看護学、2011年度から遺伝看護学を開講しています。加えて、脳神経看護学の専門領域の必要性を認識し、若手教員の海外研修が進んでいます。

本学術大会では、会長講演及び特別講演では、今日のグローバルヘルスニーズへの看護の貢献を考え、さらに、シンポジウムでは、今日の看護ニーズと看護発展と題して、新たに看護領域：遺伝看護学、周麻酔期看護学、脳神経看護学の構築と内容を共有し、看護実践の発展可能性を議論できればと考えております。

加えて、ランチオンセミナーとして、聖路加国際病院の継続教育についてと、聖路加看護大学の People-centered Care の理念を基盤とした若手教員の短期研修の成果を共有していただければと考えております。加えて、聖路加看護学会からの研修助成金を獲得した研究成果も発表していただくことになっております。

第16回の学術大会で、多くの皆様をお迎えし、共に、看護の実践を重視した明日の看護実践の発展を議論し、拓いてゆけることを願って、ご参加をお待ちしております。

記

会 期：2011年9月24日〔土〕

会 場：聖路加看護大学（東京都中央区明石町10-1）

メインテーマ：看護の可能性を拓く～看護実践の高度化と役割拡大の中で～

メインプログラム（予定）

8:30 }	9:00 }	9:40 }	15分	10:45 }	15分	12:00 }	15分	13:00 }	15分	14:15 }	16:30 }	17:00 }	
9:00	9:30	10:30		11:45		12:45		14:00		16:30	17:00	18:00	
受付	総会	大会長講演	休憩	特別講演 Dr. Perfit バーバラ・パーフィット氏	休憩	「PCCをひらく—海外研修報告」 看護継続教育（仮）	「ランチョンセミナー」 「聖路加国際病院の」	休憩	示説発表	休憩	「シンポジウム」 「看護実践の高度化と役割拡大」	閉会	自由集会
研究演題発表（示説）													
学術交流広場：展示・講演聖路加国際病院 図書館・歴史編纂室・各研究室													

<大会長講演>

「グローバルヘルスニーズの変遷と日本の国際看護の発展」……………田代 順子

<特別講演>

「グローバルヘルスへの貢献とグローバルネットワークの発展」(仮) …………… Professor. Barbara Ann Parfitt
(Principal of Grameen Caledonian College of Nursing)

<ランチョンセミナー>

第一会場：聖路加国際病院の看護継続教育(仮) ……………高屋 尚子

第二会場：「People-Centered Careをひらく——海外研修報告」……………長松 康子

*ランチョンセミナーにご参加の方は、先着100名様までご昼食を用意しております。……………小林 真朝

伊東美奈子

<シンポジウム>

「看護実践の高度化と役割拡大」

遺伝看護学をひらく……………有森 直子

脳神経看護学をひらく……………大久保暢子

周麻酔期看護学をひらく……………宮坂 勝之

演題募集要項

<申し込み資格>

1. 演者は共同発表者も含めて、本学会の学会員、または入会手続き中であることが必要です。

発表者は、学術大会前までに会員登録をお済ませください。

2. 演題は未発表のものに限ります。

<発表形式>

ポスター発表のみです。座長を設けての進行になります。

ポスターを掲示するパネルの大きさは、(タテ)210cm×(ヨコ)90cmです。

なお、演題については査読を行います。

<演題申込方法>

以下の手順で申し込みをしてください。

①演題申込書と抄録原稿を学会HPよりダウンロードする。

②抄録原稿を作成し、ファイル名を「発表者名・送信日」とする。例)築地撫子 20110227.doc

③第16回聖路加看護学会学術大会事務局へメールを送る。

送付先：slnr16@slcn.ac.jp

件名：第16回聖路加看護学会抄録原稿申込

本文：「演題名」「筆頭演者(所属)」

添付ファイル：「演題申込書」「抄録原稿」

④演題締切：5月末日

学会参加申込

郵便振り込みで参加費を払い込んで下さい。振込用紙はお一人さま一枚お使い下さい。

<記入事項>

①氏名、②住所、③所属、④会員番号(手続き中の方は「手続き中」)

<参加費> 学会員 ¥5,000 (当日参加 ¥6,000)

非学会員 ¥6,000 (当日参加 ¥7,000)

大学院生 ¥1,000 (当日参加 ¥1,000)

*ただし、新卒者または新修了者で発表する者は参加費を1,000円とします。

*事前申し込みは2011年9月3日まで受け付けます。

<振込先>

口座番号 00150-0-429707

フリガナ ダイ16カイセイロカカンゴガツカイガクジュツタイカイ

加入者名 第16回聖路加看護学会学術大会

* 聖路加看護学会の入会費と年会費の振込先は異なります。

入会手続き、会員番号照会は、聖路加看護学会事務局 slnr@slcn.ac.jp へお問い合わせください。

<領収書>

郵便振込み票をもって領収書にかえさせていただきます。

<その他>

プログラムは事前に送付します。講演集と参加証は当日お渡しします。

自由集会の企画募集

①氏名 ②所属 ③テーマ を明記の上学術大会事務局 (slnr16@slcn.ac.jp) までご連絡下さい。

お問い合わせ：第16回学術大会事務局 slnr16@slcn.ac.jp

聖路加看護学会学術大会

回	日程	テーマ	開催地	学術大会長
1	1996年9月15日(土)	建学の精神の具現化と軌跡	聖路加看護大学 東京	常葉 恵子 聖路加看護大学
2	1997年9月27日(土)	実践重視の看護の創造	聖路加看護大学 東京	飯田澄美子 聖路加看護大学
3	1998年10月3日(土)	実践の質を高める看護教育を求めて	聖路加看護大学 東京	藤枝 知子 東京女子医科大学
4	1999年9月25日(土)	ユニフィケーションの方向性を探って	聖路加看護大学 東京	小松美穂子 茨城県立医療大学
5	2000年10月7日(土)	在宅看護の源流と未来	大阪府看護協会 ナーシングアート大阪 大阪	氏家 幸子 大阪大学
6	2001年9月29日(土)	「からだ」のわかる看護の探究	聖路加看護大学 東京	菱沼 典子 聖路加看護大学
7	2002年9月28日(土)	看護と文学	聖路加看護大学 東京	井部 俊子 聖路加国際病院
8	2003年9月27日(土)	看護の“知”と哲学的基盤	聖路加看護大学 東京	中山 洋子 福島県立医科大学
9	2004年9月25日(土)	実践の“智”を築く	聖路加看護大学 東京	平野かよ子 国立保健医療科学院
10	2005年9月24日(土)	生涯発達と看護	聖路加看護大学 東京	小澤 道子 聖路加看護大学
11	2006年9月23日(土)	病気や障害のある生活と看護	聖路加看護大学 東京	木下 幸代 聖隷クリストファー大学
12	2007年9月22日(土)	少子高齢社会を生きる力、支える力	聖路加看護大学 東京	太田喜久子 慶應義塾大学
13	2008年9月27日(土)	死生観を育む	聖路加看護大学 東京	杉本 正子 東邦大学
14	2009年9月26日(土)	ファーストクラスをめざす道 —ケアの未来を拓く—	聖路加看護大学 東京	堀内 成子 聖路加看護大学
15	2010年9月25日(土)	開こう看護の技術箱 —臨床看護実践への貢献—	聖路加看護大学 東京	佐藤エキ子 聖路加国際病院